

ゲートキーパー養成研修

対象者：全職員、民生委員、精神保健福祉従事者など

1. 研修の目的

現在、内閣府では自殺総合対策の一環として、ゲートキーパー養成の推進を各地域に呼びかけています。

医師、保健師等をはじめとする精神保健福祉従事者、行政の相談窓口職員、関係機関職員、民生委員など、様々な人たちがゲートキーパーの役割を担うことが期待されています。

本研修では、ゲートキーパーの重要性や役割を理解し、ゲートキーパーに必要な心得や知識を学びます。さらに、実際に必要となる傾聴などのかかわり方も演習を交えながら身に付けていくことを目指します。

2. 研修の特徴（ポイント）

- ① 悩んでいる人に気づくポイントなど事例を交えて解説します。
- ② 参加者のかかわり方の特徴を振り返り、今後の対応に役立てます。

3. 研修内容

	内 容
2～3時間	1. ゲートキーパーとは 【講義】 1) 現状と役割 2) ゲートキーパーとしての心得 3) メンタルヘルス・ファーストエイド 2. 傾聴 【講義・個人ワーク】 1) 普段の対応に気づく 2) コミュニケーションをはばむ対応 3) 聴く姿勢 4) 傾聴技法 3. 質疑応答&まとめ